

対象国歯科医療分野における開発ニーズ(課題)

- ・歯科医師・歯科技工士数の少なさおよび歯科技工所施設の少なさから、歯科医療サービスへのアクセスが限られている(量的課題)
- ・歯科技工士の養成機関および制度がないため、歯科技工技術のレベルが低く、歯科医師と患者のニーズに適合する品質の製品提供が難しい(質的課題)

案件概要

- ・ 契約期間: 2022年12月～2024年2月
- ・ 対象国・地域: バングラデシュ国ダッカ市
- ・ カウンターパート機関: ダッカ歯科大学病院
- ・ 案件概要: 歯科医療サービスに課題を抱えるバングラデシュ国において、日本式歯科技工技術を用いた質の高い日本式の入れ歯や被せものの技工技術を導入することで、歯科医師と歯科技工士の技術向上を図り、ひいては歯科医療全体の質の底上げへの貢献を行う。

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・ビジネス戦略: ダッカ歯科大学病院および他病院等の歯科技工士や歯科医師に対し技術の普及を行うと同時に、現地に歯科技工所を設立し、製品の販売も行う
- ・対象顧客: まずは国立病院を対象顧客とし、その後県病院向け、私立病院向けと製品を拡充しながら事業を拡大する
- ・収益構造: 初期は針金を用いた入れ歯やPFM(標準品質)といった、廉価製品の販売に重きを置き、歯科技工士やビジネス販路の拡大に伴い高価格帯の製品も販売していく

提案製品・技術

日本式の「入れ歯」及び「被せもの」の技工技術の導入

- ・日本の保険診療の中で開発された安価で高品質な「入れ歯」
- ・バングラデシュ国で流通している製品と同等の価格で品質、強度や審美性の勝る「被せもの」
- ・品質の標準化と製造の効率化を可能にする独自の取組み



針金を用いた入れ歯



PFMクラウンを用いた被せもの

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・日本独自の製造法で提供する安価な製品を導入することで貧困層に届く歯科医療の提供を実現する
- ・入れ歯や被せものを、一定水準以上の品質を維持できる技術育成プログラムの下で製造・提供することで歯科医療業界の質の底上げに貢献する
- ・高品質の歯科医療の実現を通して、々の健康増進、QOLの向上に貢献する